

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第43週の発生動向

トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が1,826例あり、先週(1,761例)と同程度であった。2022年の累積報告数は196,524例となった。※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。

全数報告の感染症 (43週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 3 例。
4 類感染症：レジオネラ症 1 例。5 類感染症：播種性クリプトコックス症 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	100歳代	男	肺結核	痰、発熱、呼吸困難
		都城	90歳代	男	肺結核	左肺胸水貯留疑い
		延岡	90歳代	男	肺結核	なし
		日南	70歳代	男	肺結核	痰、発熱
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	40歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O148(VT2)
		日南	60歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O血清群不明(VT2)
		高鍋	0~4歳	女	—	腹痛、水様性下痢、血便、発熱、O157(VT2)
4類	レジオネラ症	宮崎市	50歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、下痢、意識障害、肺炎、急性腎障害
5類	播種性クリプトコックス症	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、意識障害、項部硬直

《前週との比較》

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は255人(定点当たり7.2)で、前週比98%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と手足口病で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と咽頭結膜熱であった。

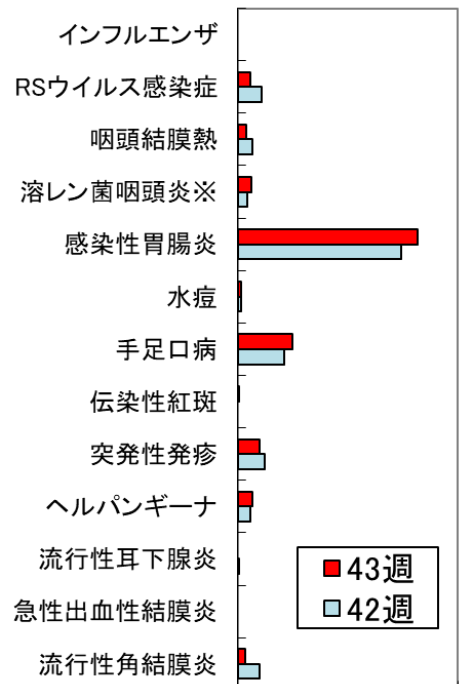
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【感染性胃腸炎】

報告数は147人(4.1)で、前週比110%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(5.8)の約0.7倍であった。小林(5.3)、日南(5.0)、宮崎市(4.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約半数を占めた。

【手足口病】

報告数は45人(1.3)で、前週比118%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.4)の約0.5倍であった。中央(5.0)、都城(2.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約9割を占めた。

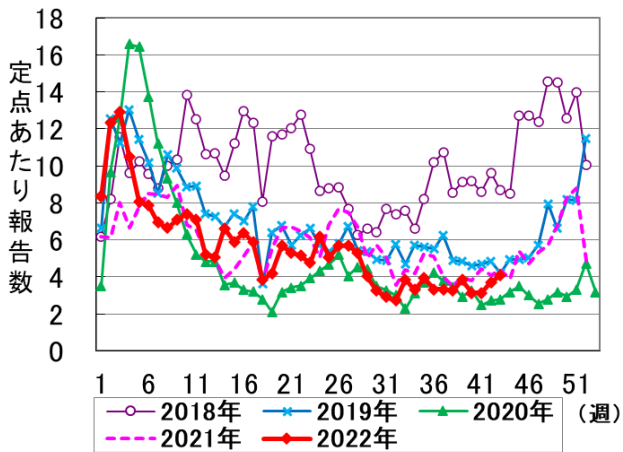


* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

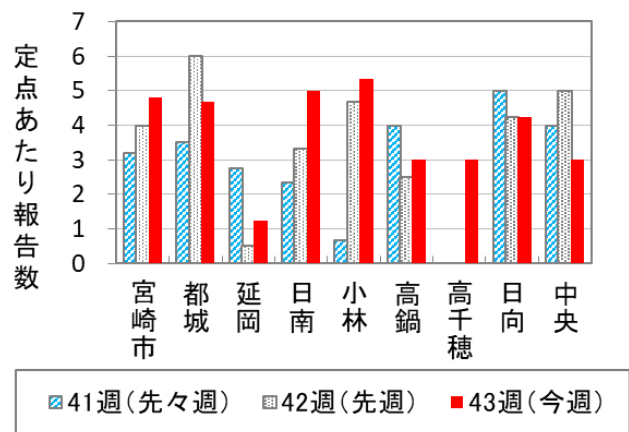
0 5
定点あたり報告数

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

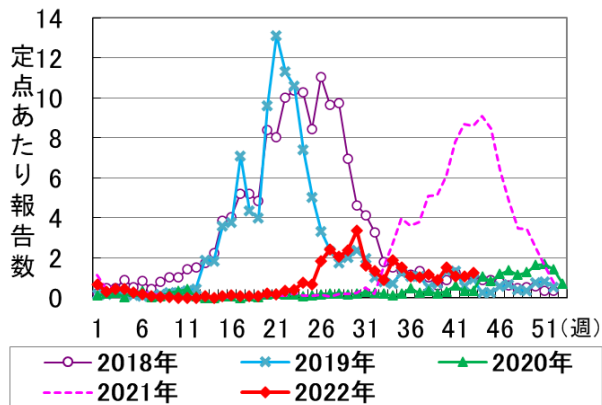
感染性胃腸炎 発生状況



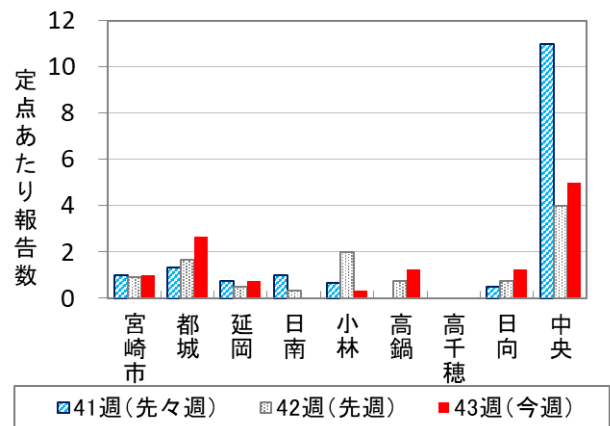
感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	手足口病(5.0)

* 流行警報レベル開始基準値*
 ・手足口病(5)

✚ 全国 2022 年第 42 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	226 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	79 例	腸チフス	2 例		
4類感染症	E型肝炎	2 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例	つつが虫病	1 例
	デング熱	3 例	日本紅斑熱	18 例	日本脳炎	2 例
	マラリア	2 例	レジオネラ症	61 例	レプトスピラ症	1 例
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	36 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例	後天性免疫不全症候群	10 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	17 例	水痘(入院例)	4 例	梅毒	164 例
	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例
	百日咳	14 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 107%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は手足口病であった。

RSウイルス感染症の報告数は 3,097 人(0.99)で前週比 102%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(0.83)の約 1.2 倍であった。山形県(3.9)、徳島県(3.7)、鳥取県(3.5)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳以下が全体の約 9 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 6,979 人(2.2)で前週比 113%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.8)の約 0.8 倍であった。大分県(5.8)、福井県(4.7)、島根県(3.9)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 4 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第43週(10月24日～10月30日)

疾病名	第42週	第43週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス	報告数	19	10	1	7	1		1			
感染症	定点当り	0.53	0.28	0.10	1.17	0.25	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	12	7	4		2	1				
	定点当り	0.33	0.19	0.40	0.00	0.50	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	8	11	6	4		1				
	定点当り	0.22	0.31	0.60	0.67	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	134	147	48	28	5	15	16	12	3	17
	定点当り	3.72	4.08	4.80	4.67	1.25	5.00	5.33	3.00	3.00	4.25
水痘	報告数	3	3				2		1		
	定点当り	0.08	0.08	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.25	0.00	0.00
手足口病	報告数	38	45	10	16	3		1	5	5	5
	定点当り	1.06	1.25	1.00	2.67	0.75	0.00	0.33	1.25	0.00	1.25
伝染性紅斑	報告数		1	1							
	定点当り	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	22	18	7	3	5	1		1		1
	定点当り	0.61	0.50	0.70	0.50	1.25	0.33	0.00	0.25	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	10	12		3	1	1	5	2		
	定点当り	0.28	0.33	0.00	0.50	0.25	0.33	1.67	0.50	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1									
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	3	1	1							
	定点当り	0.50	0.17	0.33	0.00	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～43週)

2類感染症	結核	103例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	64例(3)		
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	10例
	日本紅斑熱	10例	レジオネラ症	3例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	6例
	急性脳炎	3例	クリプトスポリジウム症	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	8例	水痘(入院例)	3例
	播種性クリプトコックス症	5例(1)	破傷風	5例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	196524例(1826)	つつが虫病	7例
			レプトスピラ症	3例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	6例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
			ジアルジア症	1例
			梅毒	81例
			百日咳	14例

()内は今週届出分、再掲